

わんにゃん通信

2022
2月号

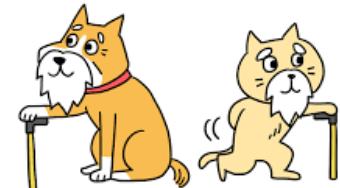
担当
吉村



まだまだ寒い日が続きます…。
こたつにみかん、暖かい部屋で食べる
冷たいアイスもいいんですが、早く過ごしやすい
季節が来るのも待ち望んでしまいます…。



近年、病院に来院される犬・猫も高齢化して
きています。それだけ、長く皆さんに可愛が
られて大事にされている事が感じられます。



そこで、今月号はシニア期に近づいたら
始めて欲しい事、知ってもらいたい事です。



そもそも
シニア期って
いつから？



犬は7歳頃、猫は8歳頃からとされ
ていますが、品種(特に**大型犬**)や飼
育環境等により違ってくるよ！



どうしてシニア
期になったら
気を付けるの？



シニア期になると、体も弱り病気
にもかかりやすくなるんだよ！



では、どういう事を気にして
いけばいいの？



まずは過ごしやすい部屋作りから



食餌

食器を高く食べやすくする。
いつでも飲めるように
新鮮な水を何か所かに。

トマレ

入口を浅くして段差をなく
したり、スロープをつけた
りして入りやすくする。
いつも清潔に。



自分の力で食べることはとても
大切な事です◎
食餌がすすまない時は、ぬる
ま湯でふやかしたり、嗜好性
の高いフードに変えたり、一
緒に混ぜるのも◎

寝床

柔らかい素材で、涼しい場所と暖かい場所に。



寝たきりになると、肩、肘、腰、踵などは特に床ずれしやすいです。クッション性の高い柔らかい寝床で、2時間おき程度で寝返りをさせてあげましょう。



手入れ

定期的な爪切りとブラッシング。マッサージも



年をとると舌で毛づくろいをしなくなったり爪とぎをあまりしなくなりお手入れ不足になります。



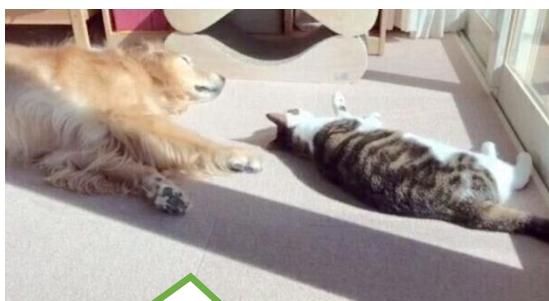
安全対策

階段や台所など行ってほしくない所へは柵をしたり、高いキャットタワーは低くするなど事故を防ぐ。フローリングは滑らないようなマットを敷いたりしましょう。



他にも...

外に出るまでは介助し、少しでも歩く気があれば散歩にでかけましょう♪時間も短めで気分転換程度にしましょう。



犬・猫は朝陽を浴びて体内時計を調節しています。日光浴をさせて、昼夜逆転しないように心がけて！

また段差があると、筋力低下している分、若い頃よりも体に負担がかかったり、飛び上がりがれず思わぬケガに繋がります。スロープをつけてあげたりしましょう。転びやすくなつたのなら、危険な物は片づけて！



生活環境

若い頃より、体温調節が苦手になってくるので、快適な気温・湿度が保てるような場所と広さを確保しましょう。移動するのも嫌がり、そのまま寝ている事もあるので、時々寝ている場所の環境チェックもしてあげましょう。

湯たんぽ等を使う時も低温やけどをしないように、注意しながら使いましょう(*^-^*)

恵子先生のコラム

「老化」は誰も避けては通れないものです。しかし最近はワンちゃんもネコちゃんも平均寿命が延びて、元気で長生きな子たちがふえているのはとても喜ばしいことだと思います。とはいっても高齢になるといろいろな病気が出てくるのも事実です。“元気がない”“やせてきた”“水を飲む量が増えてきた”“しこりができる”などのサインを見逃さず、幸せなシニアライフを目指しましょう。私も“かわいいおばあちゃん”になることを目標に頑張りたいと思います。